

誤記修正箇所について

1. 概要

本資料は、変更認可申請に合わせ実施した誤記修正について説明するものです。

2. 誤記修正箇所について

当該箇所は、新規規制基準対応工認における誤記であり、耐震・強度評価結果に影響を与えるものでないことを確認しております。また、これまでの変更認可申請、軽微変更届出の範囲外であったことから、今回の変更認可申請に合わせて、修正して申請しております。

なお、申請書の作成においては、QMSに基づき、申請書作成箇所でのセルフチェック及びダブルチェック並びに確認箇所でのサイドチェックを行い、同様の誤記等が発生しないよう申請書のチェックを行い申請しております。

(1) 添付資料 13-17-3-24 原子炉冷却系統施設の配管の耐震計算書

頁	当該箇所	誤	正	評価
2u-添 13-17-3 -24-169	第 2.4-9 表 配管諸元 (1/2)	縦弾性係数 1. p73	縦弾性係数 1.73	明らかな誤記であり、耐震評価に影響を与えるものではない。
2u-添 13-17-3 -24-174	第 2.4-2 図 余熱除去設備 解析モデル図	RHR-153R	RHR-153N	サポート番号の誤記であり、耐震評価に影響を与えるものではない。

(2) 添付資料 13-17-3-25 原子炉冷却系統施設の配管支持構造物の強度及び耐震に関する説明書

頁	当該箇所	誤	正	評価
2u-添 13-17-3 -25-26	第 2.4-2 表 支持構造物の種別 と最大発生荷重及び 定格荷重の比較	ブロック番号 ①	ブロック番号 ②	ブロック番号の誤記であり、耐震評価に影響を与えるものではない。
2u-添 13-17-3 -25-43	3.4.1 基本方針	メメカニカルスナ バ	メカニカルスナバ	明らかな誤記であり、耐震評価に影響を与えるものではない。

(3) 添付資料 14-3-10 重大事故等クラス2管の強度計算書

頁	当該箇所	誤	正	評価
2u-添 14-3-10-66	第 1.3-4 表 ブロック①管の応 力計算結果 (JSME PPC-3500)	一次応力 []	一次応力 []	許容値 [] を満足し ており、強度評価に影響を 与えるものでない。
2u-添 14-3-10-70	第 1.3-7 表 ブロック②管の応 力計算結果 (JSME PPC-3500)	一次応力 []	一次応力 []	許容値 [] を満足し ており、強度評価に影響を 与えるものでない。
2u-添 14-3-10-75	第 1.3-10 表 ブロック③管の応 力計算結果 (JSME PPC-3500)	一次応力 []	一次応力 []	許容値 [] を満足し ており、強度評価に影響を 与えるものでない。

本資料のうち、枠囲みの内容は、
商業機密あるいは防護上の観点
から公開できません。